#### <u> 平成 28 年 12 月度 バージョンアップ項目</u>

#### <施工図システム>

1.スーパーハイベース偏心対応 2.IS ベース新シリーズ対応 3.NC ベース P 対応 4.図面読込 — 柱梁配置後の本通り入力の対応 5.梁配置 — 図面読込で選択したDXFファイルの直線での割付線入力の対応 6.梁配置 — 変更した梁の色の表示切替の機能追加 7.平面ブレス・軸ブレス — 一括修正の項目追加 8.合掌梁に入る耐風梁の対応 9.柱詳細図 ― 勾配率表示、折半受け合番表示の設定追加 10.柱単品図 — 階名称を表示設定の追加 11.柱詳細図 — ピース符号の表示設定の追加 12.梁単品図・柱単品図 ― 組立チェック項目追加 13.コア仕口組立図 — 仕口取り付け位置寸法設定追加<梁芯,梁面> 14.梁詳細図・梁単品図 – 追い寸が同じ位置にある胴縁ピースの出力対応 15.材料リスト — 建て方用仮ボルト出力の項目を追加 16.3D プレビュー – 胴縁のピースのボルトを表示に対応

#### <胴縁システム>

1.角パイプの CT に対応
 2.H 鋼のベース対応
 3.長さの違う C 材を DC 材として加工図を出力
 4.組物以外のクリア 0 の取合に溶接マークを自動配置
 5.抱合ピースの C 鋼の加工図出力
 6.角 P のフタをピースリストに出力
 7.抱き合わせの組立図を出力
 8.全集計での図面出力を途中で止まらないように対応

9.縦使いの胴縁が3Dプレビューや加工図、NC変換に対応

# 1. スーパーハイベース偏心対応

B ベース入力	×
符号 : ベースサイズ	ベースタイプ 3 ベース名 BS200-S1-24
付ち : 八一人サイス         C1 : BS200-S1-24         柱部材サイズ: B-200×200×4.5	0: $\overline{a}$ $\overline{b}$
	ペース 復写 Enter 終了

# 2. IS ベース新シリーズ対応

対応シリーズ : SE シリーズ/SS シリーズ/SU シリーズ/CC シリーズ/CE シリーズ/HS シリーズ/HL シリーズ

15 ベース入力		x
符号 : ベースサイズ	ベースタイプ 12 ベース名 SE15	1
C1       : BS200-S1-24         C2       : SE151         柱部材サイズ: B-150×150×4.5	0:通常ペース 1:ペースバック 2:ハイペース 3:スーパーハイペース 4:Uボンド 5:ペースパック Rシリーズ 6:ペースパックNT Sシリーズ 7:ペースパックNT FXシリーズ 8:ハイペースエコ 9:Eペース 10:NCペース 11:NCペース FX 12:ISペース FX 13:ジャストペース 14:クリアペース 15:NCペース EXII 16:ペースバック P3シリーズ 17:ハイペースNE0(Gタイブ) 18:ハイペースNE0(エコタイブ) 19:ペースバック Vシリーズ 20:NCペースP	
	No         X距離         Y距離           1         105         105           2         -105         105           3         105         -105           4         -105         -105           ズース 複写         2	Enter 終了

#### 3.NC ベース P 対応

ち ベース入力		×
符号 : ベースサイズ	ベースタイプ 20 ベース名 F	PK-150-4C-24
C1 : BS200-S1-24	0:通常ベース	
C2 : PK-150-4C-24	2:11-1-2	
	3:スーパーハイペース №   4:Uボンド	W ]
	5:ペースバック Rシリーズ	
	7:ペースバックNT FXシリーズ	
	8:ハイペースエコ 9:Eペース	
	10:NCペース 11:NCペース FX	
		W
	13:シャストベース 14:クリアベース	
 柱部材サイズ・B-150x150x45	15:NCペース EXII 16:ペースバック P3シリーズ	
	17:ハイペースNEO(Gタイブ) 18:ハイペースNEO(Gタイブ)	
	18:パイペースNEO(エコヌイフ) 19:ペースバック ¥シリーズ	-
	20:NCペースP Ne	
		ス Enter 終了

#### 4. 図面読込 — 柱梁配置後の本通り入力の対応

(1)<図面選択>でGL階にDXFファイルを読み込みます。

(2)GL 階で<本通り入力>をクリックすると、以下のメッセージが出るので「はい」を選択してください。

図面読込		×
<b>?</b> 通り5 [本道	データは作成済で <sup>-</sup> 通り入力]を実行	す。 しますか?
	(おい(Y)	<u>いいえ(N)</u>

(3)「選択」を選び、本通りに追加したい直線をクリックし、通り名を記入します。
(4)本通りを削除したい場合は、「解除」を選び削除した本通りをクリックしてください。
(5)本通りに追加したい直線を全て選択し終えたら、「終了」をクリックしてください。





### 5. 梁配置 — 図面読込で選択したDXFファイルの直線での割付線入力の対応

(1)<図面読込>で割付線を追加した階に DXF ファイルを読み込みます。(2)<梁の配置>--<通り割付>---〔図面読込の直線を選択〕にチェックを入れてください。



(3)図面読込の直線をクリックすると以下のメッセージが出るので「はい」を選択すると割付線が追加されます。



#### 6. 梁配置 — 変更した梁の色の表示切替の機能追加

<梁の配置>--「色」で配置画面の梁の色の表示を切り替えることが可能です。



#### 7. 平面ブレス・軸ブレス — 一括修正の項目追加

(1)<平面・軸ブレス配置>---<一括修正>---〔個別指定〕〔領域指定〕もしくは〔全選択〕で修正したいブレスを選択してください。

	0100-01-000000000000000000000000000000			
個別指定	領域指定			
選	択数:4			
部材継手 取付位	置 ブレスシート	その他		
変更する項目にチェ *最初に選択したデータを	ックを付けて下 初期値としてセットし	<b>さい</b> ます。		
▼ ターンバックル <u>左</u> 右				
□ 刃の向き				
背が上 背が下				
□ 納め方向				
現在表示してい	るデータを修う	Eします。		
全選択	全解除 決	定		

(2) < 平面ブレス>〔部材継手〕〔取付位置〕〔ブレスシート〕〔その他〕

<軸ブレス>〔部材継手〕〔取付位置〕〔ブレスシート〕〔リブ〕〔その他〕 上記の項目ページごとに変更項目にチェックをし、「決定」をクリックしてください。

例◎	〔部材継手〕継手符号 にチェック → 「決定」
	項目ページを移動してから
	〔その他〕 ターンバックル にチェック → 「決定」
例×	〔部材継手〕継手符号〔その他〕ターンバックル にチェック → 「決定」
	※項目ページをまたぐと、どちらかの修正のみ反映されます。

(3)「決定」をクリックすると以下のメッセージが出るので「OK」をクリックしてください。

平面ブレス									x
?	チェッ すか。	クのある項	目を配け	置データ	パロセット	ト <mark>し</mark> ます。	処理る	を実行しる	₹
						ОК		キャン	

<平面ブレス> 一括修正の項目:部材継手、取付位置、ブレスシート、その他

〔部材継手〕

切取長 「 左 |

角度

フピートクリア

「 左 「
 どん付け

溶接幅 □ 左 [

スカラッフ。

□ 左

□ 左 □ どん付け

・部材・継手	符号・シート	タイプ・既集	品名	・取付基準・	高さ
部材継手	取付位置	ブレスシート	その他	部材継手 [	取作
変更する功 *最初に選択 *シートタイン して下さい。	頁目にチェック したデータを初期 がで既製品を選択 (丸棒1つ孔以外	<b>りを付けて下</b> 明値としてセットし こした場合は、既認 りは既製品名はも	<b>さい</b> ます。 製品名を選択 2ットしません〉	変更する項 *最初に選択し	【目に 」たデ 満を見
□ 部材 「			•	取付基準	
継手符号 □ 左	•	□右	•	□左   高さ □左	
シートタイ: □ 左	J •	「右」	•	取付面 □ 左	
既製品名 □ ナ		<b>□</b> +		*12	
	•		•	□ 左   ニが寸法 □ 左 □	
〔ブレスシー 第1孔のニ プレートク	ト〕 -ゲ・クリアラ リア・どんを	ランス・切取長 けけ・溶接幅・	そ・角度 スカラップ	〔その他〕 ・ターンバ	ック
部材維手	取付位置	ブレスシート	その他	部材継手	取
<b>変更する項</b> *最初こ選択[	【目にチェック 」たデータを初期	<b>を付けて下</b> る 植としてセットし:	<b>きし</b> い ます。	<b>変更する</b> 功 *最初に選択	真目। れたラ
第1孔の二 <sup>4</sup> □ 左 □	לי לי	□右		□ <u></u> ም−ንለ* <u>*</u>	ックル <u>左</u>
「左「		□右 □			e 背

□ 右 [

□ 右 [

□ 右 [

「「右

□ 右 □ どん付け

□左 直角 斜め □ 右 直角 斜め

〔取付位置〕

取付基準・高さ・取付面・ポイント・ニゲ寸法

部材継手	取付位置	ブレスシート	その他

変更する項目にチェックを付けて下さい \*最初に選択したデータを初期値としてセットします。

#### □ 大梁天端を基準にして高さを合わせる

取付基準 □ 左 <u></u>	一右
高さ 「左」	「右」
<mark>取付面</mark> □左 <u> </u>	」「右
	「右」
ニケ・寸法 「左	「右

・ターンバックル・刃の向き・納め方向

部材継手	取付位置	ブレスシート	その他
変更する功	頁目にチェッ	クを付けてて	「さい
*最初に選択	したデータを初	期値としてセット	します。
□ ターンハッ	ゥル		
	左右	無	
□ 刃の向	き		
	背が上	背が下	
□ 納め方	向		
	I T		

10	

-

<軸ブレス> 一括修正の項目:部材継手、取付位置、ブレスシート、リブ、その他

〔部材継手〕

・部材・継手符号・シートタイプ・既製品名							
部材維手	取付位置	ブレスシート	リブ	その他			

変更する項目にチ: *最初に選択したデータ *シートタイプで既製品で して下さい。(丸棒1つ剤	<b>ェックを付</b> を初期値とし を選択した場合 し以外は既製	<b>ナて下さい</b> てセットします。 合は、既製品名を選択 品名はセットしません)
□ 部材		•
継手符号 □ 左	一石	•
シートタイプ 「左	• 「右	•
既製品名 □ 左	「右	

[ブレスシート]

- ・第1孔のニゲ・クリアランス・切取長・角度
- ・プレートクリア・溶接幅・取付ズレ
- ・取付マーク・取付マーク 位置

部材継手取付位置プレスシートリブ

リブ その他

# 変更する項目にチェックを付けて下さい

\*最初に選択したデータを初期値としてセットします。

## 第1孔のニゲ

第111-9-7	
□ 左	□右
クリアランス	
「左」	□右
切取長	
「 左	□右
フッレートクリア	
□ 左	□ 右
溶接幅	
□ 左	□右
取付ズレ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
□ 左	□ 右
取付マーク	
「左 ▼	「右」
取付マーク 位置	
□ 左	□ 右

〔取付位置〕

・取付基準・取付面・ポイント・ニゲ寸法

的机能于机	竹加直ノル	x>-r	97	てい他
<b>変更する項</b> *最初に選択	<b>〔目にチェッ</b> したデータを初	<b>クを付け</b> 期値として	トて下さ モットしま	い す。
シート位置	t	⁻┌≠	. r===	
取付面	1.		I	
** 1/2				
□ 左   =ゲ寸法		」□右		<b>•</b>
「左」		□ □ 右		

[リブ]

- ・押さえリブ・押さえリブ 上下・押さえリブ 板厚
- ・縦リブ・水切りプレート・水切りプレート 板厚
- ・水切りプレート 取付位置

部材維手 取付位置 ブレスシート リブ その他

変更する項目にチェックを付けて下さい \*最初に選択したデータを初期値としてセットします。

押さえリブ		
「左」	□ 右	•
押さえリブ 上下		
「左 」	「右」	-
押さえリブ 板厚		
「左」	□ 右	
縦リブ		
「左」・	□ 右	•
水切りブレート		
「左」	「右」	-
水切りブレート 板厚	Į '	
「左」	「右」	
水切りプレート 取作	す位置	
「 左	「右」	

[その他]

・ターンバ	ックル	・刃の	向き・	納め方向	]
部材継手	取付位記	置ブレ	スシート	リブ	その他
変更する	項目に	チェッ	クを付	ታፖፑሪ	<u>\$</u> [1]
*最初に選	択したデ、	ータを初	期値とし	てセットしま	ます。
□ ターンバ	シックル				
	左	右	無	1	
□ 刃のば	向き			-	
	背が	°Е	背が	下	
□ 納めフ	「向				
	1	1			

#### 8. 合掌梁に入る耐風梁の対応

(1)<間柱、耐風梁配置>---<耐風梁配置>---〔合掌梁に配置する〕にチェックしてください。

間相	主、而	」風	梁配置
耐風梁を入す	」する	梁を打	
EUCALO			間柱軸図 配置
			間柱修正
▶ ▶ 合掌梁に配	置する		間柱削除
			間 柱 階複写
			間柱EV配置
			間柱EV修正
通い	漫却	1	耐風梁 配置
	E M		耐風梁 修正
間柱数	-	n	■ 耐風梁 削除
耐風梁数	:	1	終了

(2)耐風梁を配置したい合掌梁をクリックし、通常の耐風梁同様に項目を入力してください。



(3)梁詳細図・梁単品図には以下のように出力されます。



# 9. 柱詳細図 — 勾配率表示、折半受け合番表示の設定の追加

B. 柱詳細	and the second se			<u> </u>	3
- 出力設定					8
出力方式	2				
出力方向	3	勾配率表示			
出力文字サイズ	3				
文字幅比(%)	60	1 = 表示しない			
用紙サイズ(柱加工指示書)	1	2 = 表示する			
図面レイアウター	25				
キープラン縮尺	300				
仕口部納まり詳細表示	2				
柱詳細 柱全長寸法表示	1				
タイコ、シャフト合番	2				
製品マーク、合番設定	2				
全断面出刀(在詳細)	2				
杜*采部材 人子幅比(%)	60				
朱部州 <b>小山</b> 禄衣記 人 英主印					
百番衣記 断面 辺ット主モ	2				
町田 朱ノノ衣小 早日ピーフ 手子	2				
中ッビース衣小 ガフ坊き穴設定	2				
平面レイヤー設定	1				
<u></u>	2		Enter	終了	
New 勾配率表示		_			
New 新半受け合番表示	1				
階名称(柱単品図)	1				
New 組立チェック(柱単品図)	2				
	0				

<柱詳細>--<出力設定>--<勾配率表示><折半受け合番表示>の項目で表示の切り替えが可能です。



#### 10. 柱単品図 — 階名称を表示する設定の追加

<柱詳細>--<出力設定>--<階名称(柱単品図)>の項目で表示の切り替えが可能です。





## 11. 柱単品図・梁単品図 — 組立チェック項目追加

(1)<柱詳細>---<出力設定>---<組立チェック(柱単品図)>の項目で表示の切り替えが可能です。

B. 柱詳細		-				X
出力設定						
出力方式		2			_	
出力方向		3	—     柱単品	品図 組立チェック		
出力文字	サイズ	3				
文字幅比	(%)	60	-   1	= 表示しない		
用紙サイズ	(柱加工指示	書) 1	-   .			
図面レイア	<u>"ウター</u>	25	-   2	= 表示する		
キープラン	/ 縮尺	300	-			
<del>什口 郭</del> 納	おいていたい	2	-			
社営細社	今月寸注ま	- 1	-			
	土女 コム衣/		-			
	777日世 5 人卒机西	2	_			
設品マーク	人合金設定	2	_			
王明围击。	八代社計和以	2	_			
在- 架部材	「又字幅比(	60	_			
梁部材引出	出線表記	1				
合番表記		2				
断面 梁ツ	フ表示	2				
吊りピース	表示	2				
ガス抜きゲ	、設定	2				
平面レイヤ	7一設定	1			1	1
<mark>対角寸法</mark>	表示	2			Enter 終う	ĩ 🔰
勾配率表示	示	1				
断半受ける	合番表示	1	_			
階名称(村	単品図)	1				
New 組立チェッ	ク(柱単品図	) 2				
		- 10				
Г Уд П		\\		$\star$		」 ク 土
	<u>†</u> f	· _ \)	ノク (	★ <u>+</u> )	J. T. Y	ノク者
「糸目	Ţ	Ξ.,	)ク(	(本主)	「 チェッ	り力者
	⊥J ™J	Т //	ノク(		jfi y	り ク 者
	<u>寸</u> チ	・ エ い 派王	ノク( 取	柱) 全 <u>金</u>	fi y	り ク 者
	<u> 一</u> チ	工、)	ノク( 取	柱)	JI Y	り ク 者 -
	<u> </u> 一 チ	エーン	ノク( 取 合	柱) 全 金 長	「 チェッ	りク者
				柱) 全 金 長	ĴĴ Ţ Ţ Ÿ	。 ク 者
	<u> </u> 一 一 一 一 一 一 一 一 一	エジョン		柱) 全 金 長	fi y	」 ク 者
	<u> 一</u> チ 部 お た オ 、 、	エン		柱)金長寸	Ĵ Ĵ Ĵ Ţ Ţ	
	<u> 一</u> チ 部 お ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ ボ	エジ組立溶接	ノク( 取合寸法	柱) 全 長 寸 法 物	JI JI JI	」 ク 者 ノ ク 日
	立 部 材 法	工組立溶接	ノク( 取合 式 法	柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ チェッ	y ク者
	立 部 材 法	工組立溶接	レク ( 取合 寸法	柱) 全	チェッ チェッ	」 ク 者 リ ク 日
	立チ 部:材:寸法	工組立溶接	ノク( 取合寸法	柱) 全長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ	り り り ク 日 。
	立 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	エジ溶接	ノク( 取合寸法	柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ	y ク者 y ク日
	<u> </u>	工組立溶接	ノク( 取合式法	柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ	ノ ク 者 ノ ク 日
	☆チ 部間 材 法 法	工組立溶接		柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ	J ク者 J ク日
	立 チ 部 材 寸 法 日 構	エー組 立 溶 接 ー 大		柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ	り り り り 日
	<u> 立</u> 一部 前 材 一 法 一 二 構	エ い 組 立 溶 接 し 大		柱) 全長寸金 法 物	「 チェッ 「 チェッ	り り り ク 日 。
	立チの部は対法の時間	エジ組立溶接			「 チェッ チェッ	り り り り 日 い
	<u> </u>	エッ 組 立 溶 接 し 大		柱) 全 長 寸 法 物	「 チェッ 「 チェッ * * た旦	し り り う 日
	立 手 副 材 式 法	エッ組 立 溶 接 し 大 大	ノク( 取合式法 イズ	柱) 全 長 寸 法 物	チェッ チェッ チェッ	J ク者 J ク日

(2)<梁詳細>---<単品加工図作成>---<設定1:ボルト記号、組立チェック出力> ---<組立チェック表示>の項目で表示の切り替えが可能です。



### 12. 柱詳細 ― ピース符号の表示設定の追加

- <柱詳細>--<胴縁ピース読込設定>--<柱詳細図・単品図>立面寸法線のピース符号
- ・全てを表示する
- ・符号が変わった時に表示する:GL側から追って符号が被っている場合は表記されません。

	10 M	
┌柱詳細メニュー	]	
初期設定	┌胴縁システム ビース読込設定────	
	胴縁システムで配置した軸組ビースを出力しますか?	
ダイア 確認	・出力する ご出力しない	
スタッドボルト設定		
出力設定	フランジ外面に取り付く場合の溶接幅 0	
胴縁ビース読込設定	※設定値か0の場合は取り付く部材の芯まで ☑ ビースリスト・原寸型紙を部位毎に出力する	
原寸型紙作成	<ビースリスト>	
図面作成	用紙サイズ ○ A4 ○ B4 ○ A3 構	[ - +
仕口加工表	出力間隔 50	
データ初期化	日付 平成28年10月21日	L <sup>e</sup> -スリスト出力
ネット受け設定	<原寸型紙>	ピース原寸出力
図面プレビュー	型紙出力間隔 100	終了
終了	型紙の工事名	
	<柱詳細図・柱単品図> 立面寸法線のビース符号	
	○ 全てを表示する	
	* 付号か変わった時に表示する	

<全てを表示する>



<符号が変わったときに表示する>

#### 13. コア仕口組立図 — 仕口取り付け位置寸法設定追加<梁芯,梁面>



<柱詳細>--<仕口加工表>--<コア仕口組立図>--「梁面~柱面表記」で寸法表示の設定が可能です。

### 14. 梁詳細図・梁単品図 — 追い寸が同じ位置にある胴縁ピースの出力対応

<梁詳細図>



<梁単品図>





# 15. 材料リスト — 建て方用仮ボルト出力の項目を追加

B. 材料リスト表		
	リスト出力設定       出力 枠数 横数:     1 縦数:     1	材料リスト 出力
	小数点以下の表示 0 (1=表示する (※柱リスト、梁リスト、発注依頼書) (※柱りスト、梁リスト、発注で、	<u>出力 工区番号</u> (0=指定なし) 0 ※は別日総変は工区分け毎日
	(軽重溝型)追寸万向  1 (1=←, 2=→) 担当者名 ※会社名と電話番号は「図面レイアウト」で入力	<ul> <li>DXF作成 ○ TDF作成</li> </ul>
	出荷明細書 第 回 - 出荷明細書 重量枠表示	ラベリング 出力
	<ul> <li>○ 表示する(柱・梁単品図から計算) ○ 表示しない</li> <li>(※重量計算に時間がかかります!!)</li> <li>– 出荷明細書 ブレス出力 –</li> </ul>	図面プレビュー
	<ul> <li>○ 全部材を出力</li> <li>○ 山形・溝形を出力</li> <li>● () () () () () () () () () () () () ()</li></ul>	ジャストイン印刷
	本ボルトの 33 % (最低本数2本) 「リスト全てをA4で出力	<u>終了</u>
	製品検査成績表(梁)出力選択	
	□G1 大梁 出力する部 □B1 小梁 □B2 小梁 てください	
	□B3 小 梁 □B4 小 梁 □₩B1 小 梁 大梁	
	小 梁 <u> </u> <u> </u> +ャンティ梁	

<材料リスト>---「建て方用仮ボルトを出力する」にチェックし数値を入力後、材料リストを出力してください。

# 16.3D プレビュー — 胴縁のピースのボルトを表示に対応



### <胴縁システム>

#### 1. 角パイプの CT に対応

<胴縁編集>—<個別修正>にて〔フタ無〕をクリックしてください。 〔フタ無〕→〔フタ内〕→〔フタ外〕→〔 $\Lambda^{-}$ , →〔CT〕の順に変更が可能です。

図面データ切替	レイヤ設定	計測機能	胴縁編集	開□編集	ピース編集
			新規	ピッチ割付	複写移動
			個別修正	一括修正	マグザ指定
			伸縮	分割連結	前除
1			包き合わせ	IΣ	
			点		範囲
			🗌 縦使し	0-100×10	)×2.3
			SDK	隙間 0	773-(/)
			合わせ	○左 ○	右 💽 芯
			刃の向き	C 左向き	<b>C</b> 右向き
			始点 X	29500 Y	130
i i			79 無   □	取合優先	: ウリア 🔽 0
ال			終点X	29500 Y	5075
			СТ	取合優先	<u>.</u> /7/7 0
			t výt	芯ズ	
			<ul> <li>有効デ</li> </ul>	ি হু	無効データ
			決定	中止	
			選択数[	1]	取合設定

#### 2. H 鋼のベース対応

<胴縁編集>—<個別修正>にて〔フタ無〕をクリックしてください。 〔フタ無〕→〔ベース〕の順に変更が可能です。



# 3.長さの違うC材をDC材として加工図を出力

<胴縁編集>---<抱き合わせ>---<DC 認識>

〔追加〕を選択、DC 材として出力したい C 材をクリックして登録すると、加工図に DC 材として出力されます。

	図面データ切替	レイヤ設定	計測機能	胴縁編集	開口編集	ピース編集
				新規	ピッチ割付	複写移動
				個別修止	一括修止	マグサ指定
				1中 稲 カキ会わせ	分割理結    エ ロ	則际
				20 61/2		]
				点		備日田 New
				抱き合わせ	と 組物	DC認識
				個別		連鎖
背合材	つせのC材をDC杉	なして処理し	_ます。	<u> 野</u> 号 名称 <u> 未設</u> 1	色 記 白	· 本数 57 2
				2	Á	0
6 5						
and the second						
				名称	は入力できま	せん
				追加	修正	削除
合番: YO- 数量: 1 台	58米) (2本)				2	790]
展さ:[279 湖南・	0.					
= <sup>2</sup> 和初 方向: → 上						
l l						
1						
[6] <b>=</b>						

#### 4. 組物以外のクリア0の取合に溶接マークを自動配置

<初期設定>--<基本データ>---<マーク>

「全ての胴縁に自動配置する」にチェックを入れると、「マークの名称」で入力してある文字列が自動配置され ます。

基本データ	Jア   ピース配置1   ヒ 7の自動配置 (0)で取り合う位置に 置します。(ピースが無 の胴縁に自動配置す )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 )設定を変更した場合。 ) () () () () () () () () () () () () () (	2ース配置2   ピース マークを (1)場合) る 、集計で J合いが す。 する	符号 (マーク) 角ル	New パイブ1   角パイブ2	
工事別の設定で	<del>ट</del> ्र	終了			
			K		

#### 5. 抱合ピースの C 鋼の加工図出力

<ピース編集>—<個別 / 一括修正>—〔角 P · 2C 材のボルト加工〕—〔C 形鋼使用〕にチェックした場合、 ピースの C 鋼を加工図に出力します。

図面デー切替	レイヤ設定	計測機能	胴縁編集	開口	編集	ピース編集
			自動配置	手動	配置	個別修正
			一括修正	削	除	
			点			範囲
			ビース符号		GL	50 💌
			取付位置		○左	「石
6	G	2	ビースの向	ŧ	C ⊞	「有
1		1	ダブル(ピー	ス)の	クリア	0
			ボルト反転		○有	
			角P・2C材の	のボル	ト加工	
			○ 通しボ	ルト	• C	形鋼使用
	1		プレート(ボ,	ルト) <mark>*</mark>	BK	60L 💌
				外	€ ∰	
			プレート()容	接)		•
			〇有『	無		
			移動距離		Γ	0
			決定		E	



#### 6. 角 P のフタをピースリストに出力

<胴縁編集>--<個別修正>にて〔フタ内〕もしくは〔フタ外〕を選択している場合、ピースリストに出力します。

胴縁編集	開口紙	扁集	ピース編集					
新規	ヒ <sup>°</sup> ッチ	割付	複写移動					
個別修正	個別修正 一括修正 マグサ指定							
伸縮	分割	削除						
包ま合わせ	I	X						
点			範囲					
- 縦使い	<b>D-100</b> :	×100×	2.3					
SDK	隙間	0	723-(/)					
合わせ	○左	CR	ち 🖸 芯					
刃の向き	C 左向	司き	C 右向き					
始点 X	29500	ΥΓ	70					
7次内 [	取合	憂先	/ሀፖ 🔽 0					
終点 X	29500	Y	3300					
79 外 🗆 取合優先 ウリア 🔽 🛛								
🗆 マグサ	;	芯ズレ	/ 0					
● 有効データ ○ 無効データ								
決定    中止								



#### 7. 抱き合わせの組立図を出力

<胴縁編集>---<抱き合わせ>---<抱き合わせ>で登録した胴縁を組立図に出力します。 ※ただし縦使いの角パイプは今後対応予定とさせていただきます。



# 8. 全集計での図面出力を途中で止まらないように対応

※1 度図面を出力していた場合、上書きの確認は行います。

全集計											x
New 集計または出力する番号をクリックして「選択」にOを付けて下さい。 C 合番の固定 ・集計後に編集した最後の項目を「デー%変更」に表示しています。 ・集計等の日付が当日の場合は時刻を表示します。											
番号	選択	剷名	胴縁数 未	集計数 最小	合番	最大合番	集計外プ	追加合番	デー変更	データ集計日	
1	0	YO	58	0	1	38	追加	39		15:03:08	
2	0	Y1	85	0	1	36	追加	37		15:03:10	-
3	0	Y1a	16	0	1	9	追加	10		15:03:10	
4	0	Y4	53	0	1	31	追加	32		15:03:11	
5	0	X1	92	0	1	61	追加	62		15:03:13	
6	0	X1a	7	0	1	4	追加	5		15:03:13	
7	0	X2	21	0	1	14	追加	15		15:03:13	
8	0	Y2a	11	0	1	8	追加	9		15:03:13	
9	0	X3a	7	0	1	5	追加	6		15:03:13	
10	0	X5	77	0	2	72	追加	73		15:03:14	
11	2										
12											
13										Þ	H
全選択     全解除     集計表(全通り)     梁ロボデータ変換											
Ŧ	データ集計 図面出力		リスト作い	リスト作成 孔あけ加工表 NG7			产物出力   終了				

# 9. 縦使いの胴縁が3D プレビューや加工図、NC 変換に対応

図面データ切替	レイヤ設定	計測機能	胴縁編集	開口編集	ピース編集
			新規	ピッチ割付	複写移動
			個別修正	一括修正	E マグサ指定
			伸縮	分割連続	吉 削 除
			包き合わせ	IΣ	
			点		範囲
	$\left( \right)$		✔ 縦使い	C-100×50	×20×2.3
	2		SDK	隙間 0	723-(/)
			合わせ	「左」の	右〇芯
			刃の向き	<ul> <li>下向き</li> </ul>	○ 上向き
	$\sim$		始点 X	27864 Y	70
	><		KP 79	取合優先	: 別7 10
	$\bigcirc$		終点 X	27864 Y	2980
	വ		KP 79	取合優先	5 /J/7 10
	1 I		□ マグサ	芯ス	
	$\bigcirc$		<ul> <li>有効デ</li> </ul>	- <u>9</u> 0	無効データ
	Y		決定	中止	
			選択数[	1]	取合設定

